

付録7 ショット・クロック

下記のショット・クロック・ルールはワールド・ゲームズ、世界選手権、大陸選手権で適用される。

(ショット・クロック・ルールは、参加するチームに対してショット・クロック・ルールが使用されると明確に通知されている場合に適用される。)

1. チームはボールを保持、または、ボールのコントロールを得てから 60 秒以内にゴールに向かってシュート行為を行わなければならない。シュートを行わない場合は、相手チームにボール保持権が移る。シグナル 11、及び、15 適用。
2. ショット・クロック (60 秒計) はタイム・キーパーにより操作される。ショット・クロック (60 秒計) は試合の主時計に直接同期しており、得点した時や審判のタイム・アウト時など、主時計が止まった際にはショット・クロック (60 秒計) も停止する。
3. ショット・クロック (60 秒計) は試合会場の選手や観客がはっきりと視認できるよう、各ゴールの上や横、または主審側のそれぞれのコーナーに設置する。
4. ショット・クロック (60 秒計) は固有の音の鳴る装置で、選手、役員などゲームに関わる全ての人にはっきりと聞こえるものでなければならない。ショット・クロック (60 秒計) の音は、主タイム・キーパーの音と異なるものを用いなければならない。ショット・クロック (60 秒計) の音は、残り 20 秒で一度鳴り、ショット・クロック時間が終了したことを示すため、60 秒が終了した際に 3 度なる。審判はボール保持権の変更を確認するために笛を吹き、シグナルを示す。
5. 得点するためには、シュートはショット・クロック (60 秒計) 終了の音が鳴りはじめるまでに完了していなければならない。
6. ショット・クロック (60 秒計) はシュート行為が行われたとき、または、ボール保持が反対のチームに移った場合にリセットされる。シュートしたボールがリバウンドしてコート外に出たとき、または、コート内に落ちて競技が続行された場合もリセットされる。シュートを試みたチームがリバウンドボールを拾って再度ボールを保持したとしてもショット・クロック (60 秒計) はリセットされる。(時間内にシュートした見返りとして)
7. ゴールに向かってのシュートではなく、コントロールミスによってボールをコート外に出したにもかかわらず、結果的にサイド・ライン・スロー、コーナー・スローなどで攻撃権を維持した場合はショット・クロック (60 秒計) はリセットされない。
8. 両チームの選手が瞬間的にボールの保持やコントロールを分かち合った場合、ショッ

ト・クロック（60 秒計）は相手チームに明確にボール保持が移った場合のみリセットされる。（2 選手間でボール競っている状況など）

9. チームが瞬間的にボールの保持、または、コントロールを失い、再び保持、または、コントロールを得た場合、ショット・クロック（60 秒計）はリセットさない。（パスミス、ディフェンダーのブロックなどで瞬間的にボールのコントロールを失った場合など）
10. ショット・クロック（60 秒計）は、相手チームの反則でフリー・ショットを得た場合にリセットされる。（繰り返しファールをし、ショット・クロックの時間を使い切ろうとすることを防ぐ。そのようなチームにはカードが適用されるべき）